

横浜

磯子区青少年指導員の活動

磯子区青少年指導員協議会 会長 畠中 正夫

磯子区青少年指導員は、日頃から「自分たちの町の子どもたちは、自分たちの手で守る!」を合言葉に、非行防止広報活動やパトロール活動をしています。夏の全市一斉統一行動パトロール活動では、横浜市の青少年指導員約 2500 名が、夜 10 時から一斉に公園・学校・コンビニ等を重点的に見回り、徘徊している青少年には帰宅を呼びかけます。

11 月に区役所で開催される「いそごこどもまつり」は、磯子区青少年指導員の活動の中で最も大きな行事です。屋外では青少年指導員・子ども会・学童クラブ等による模擬店を、屋内では子ども会によるフリーマーケット、区内企業によるロボット操作ゲーム、夏休みに各地区で行われた工作・絵画等の教室の作品展示を実施しています。また、当日は全市一斉統一行動キャンペーン活動として、チラシと啓発物品の配布も行っています。

今年度は大きな行事がさらに増え、磯子区紙ヒコーキ

大会を久しぶりに開催しました。各地区で製作・予選会を開き、上位入賞者が区大会に挑みました。他にも、正月恒例の磯子七福神めぐりや、秋の区民駅伝大会など、様々な行事の運営や協力をしています。また、青少年指導員の資質向上のために研修会・学習会を年に 3 回ほど実施し、年々進歩するスマートフォンの問題等、青少年を取り巻く環境について勉強しています。

各地区では、他にも多くの事業を行い、また、自治会・町内会の行事にも青少年指導員は中心的役割を果たしています。



【いそごこどもまつりの様子】

活動ガンバ

～ 地域活

横須賀三浦

「さわやか体験学習」

～子どもたちに感性と豊かな心の育みを～

葉山町青少年指導員連絡協議会 会長 原田 敦子

この事業は、毎年小学生を対象に実施する、青少年指導員連絡協議会主管の行事です。

指導員がアイデアを持ち寄り企画し、予行練習をして、子どもたちが安全に楽しめ、自分で考える場面があるように準備をします。

近年は「ものづくり」を体験する企画が主となっていて、木工（椅子・巣箱・時計）や、草木染め、バスボム（重曹やクエン酸を混ぜて固めた入浴剤）作りなどを実施しました。

平成 25 年度は、10 月 27 日（日）に行いました。内容は「ランプシェード作り」で、教材用の LED ランプを使用して、それに被せる「かさ」を作りました。

材料は、ペットボトル・プラコップ・紙コップ・シーグラス・貝・セロファン紙・ビーズ・針金など、身近にある物を使います。

最初に設計図を描き、それに合う材料を揃えて、自分が考え設計したものに近づくように工夫しながら作っていきます。

ペットボトルを組み合わせて水を入れ、その中にシーグラスや貝を入れて海を表現した作品や、セロファン紙を貼り合わせてスタンドグラスのように見える作品など、どれも癒されるものばかり。完成した作品を手し、一人一人が苦労した点や工夫した点を発表すると、拍手をしたり感嘆の声をあげたりと、子どもたちの達成感が私たちにも伝わりました。これが私たちの次の活動への力になります。

指導員の活力の源は、子どもたちの自信に満ちた笑顔です。



【綺麗なランプシェードができました】